



## 2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社バリューデザイン 上場取引所 東  
 コード番号 3960 URL https://www.valuedesign.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾上 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 稲垣 智史 (TEL) 03-5542-0088  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	1,216	18.1	52	73.6	48	119.6	33	117.8
2019年6月期第2四半期	1,029	5.9	30	406.1	22	1,259.9	15	2,987.3

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 30百万円(151.6%) 2019年6月期第2四半期 12百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年6月期第2四半期	22	90	21	86
2019年6月期第2四半期	10	55	9	93

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	1,212	62.3	768	62.3	755	62.3
2019年6月期	1,203	58.2	708	58.2	700	58.2

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 755百万円 2019年6月期 700百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	—	—
2020年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,295	11.1	53	—	43	—	1	—	0	68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期2Q	1,494,100株	2019年6月期	1,469,500株
② 期末自己株式数	2020年6月期2Q	77株	2019年6月期	77株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期2Q	1,472,733株	2019年6月期2Q	1,467,766株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、2020年2月21日(金)に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページへ掲載予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における売上高は、初期売上が前年同期比32.0%増、システム利用料売上が前年同期比10.3%増となり、総売上高は1,216,450千円（前年同期比18.1%増）となりました。販売費及び一般管理費は、前期に実施したオフィス移転及び人員増加による固定費の増加、システム利用料売上増加に伴う代理店手数料の増加等により11.8%増となりました。その結果、営業利益は52,137千円（前期は営業利益30,040千円）となりました。

当社グループの所属する電子決済市場においては、キャッシュレス決済の普及を目的とした政府の方針を背景に各種決済サービス事業者やFintech企業、大手金融機関が相次いで関連サービスを開始しているほか、大手流通業やサービス事業者等のキャッシュレス決済事業への参入も活発化しております。また、2019年10月から「キャッシュレス・消費者還元事業」が開始されたことでキャッシュレス決済比率も上昇するなど、市場は引き続き活況の様相を呈しております。

このような状況のもと、当社グループが事業展開している「バリューカードASPサービス」も、引き続き導入企業数、店舗数を伸ばしており、2019年12月末時点で導入企業数749社、導入店舗数74,410店舗へと増加しております。

2019年7月より開始したQR等コード決済事業者との接続・中継サービス（ゲートウェイサービス）は、2019年12月末時点で9社のQR等コード決済に対応しており、同サービスの導入各企業で利用が開始されております。他にもクレジットカード等をはじめとする、現金以外でのハウスプリペイドへのチャージ手段の拡充や、スマートフォンアプリでのハウスプリペイドの利用、ハウスプリペイドの利用データ分析に基づくクーポンや来店促進を行うソリューション等、ハウスプリペイドをより効果的に活用し、またハウスプリペイドユーザーを増やすためのサービスも順次導入を進めております。

2019年10月からは「キャッシュレス・消費者還元事業」が開始しており、同事業に参加している当社顧客企業におけるハウスプリペイド利用額も増加が確認されております。また、当社はコンソーシアム代表申請者として、登録申請等を取りまとめて実施すると共に、当社顧客における同事業への参加支援サービス（システム開発・運用など）を提供し、収益も発生しております。

通期の業績予想については、「キャッシュレス・消費者還元事業」の参加支援サービスにおいて運営費用（従事者の人件費及び関連システムへの投資等）が今後増加する可能性があります。現時点でその具体的な内容についての見通しを立てることが困難であるため、据え置きとしております。

セグメントの事業業績は、次のとおりであります。

#### ① ハウスプリペイドカード事業

ハウスプリペイドカード事業においては、スーパーマーケット・ホームセンター・飲食チェーンでのプリペイド利用が好調であり、またハウスプリペイド・QR等コード決済用の新型端末や入金機などの初期売上が好調であったことにより、売上高は前年同期比21.7%増となりました。

販売費及び一般管理費は、第1四半期から引き続き前期に実施した施策による固定費の増加（人件費・オフィス賃料等）のほか、システム利用料売上の伸長に伴う代理店手数料の増加などの影響から、前期比28.1%増となりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,137,394千円（前期比21.7%増）、セグメント利益（営業利益）は232,061千円（前期比7.8%増）となりました。

#### ② ブランドプリペイドカード事業

当セグメントにおいては、前連結会計年度から引き続き既存イシュー（カード発行会社）とその提携先（注）を中心に事業を行っております。前期第4四半期に生じた既存サービスの一部縮小の影響、及び2019年12月は入金・利用とも前期に比べ減少したことから、売上高は前期比17.0%減となりました。

この結果、当セグメントの売上高は79,055千円（前期比17.0%減）、セグメント損失（営業損失）は23,685千円（前期はセグメント損失4,859千円）となりました。

（注）提携先とは、カード発行会社（イシュー）が運営する資金決済サービスを利用して、事業者自らの顧客（会員組織等）に対してプリペイドカード、会員カード等のサービスを行う事業者のことを指します。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高1,216,450千円（前年同期比18.1%増）、営業利益52,137千円（前年同期比73.6%増）、経常利益48,526千円（前年同期比119.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益33,721千円（前年同期比117.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産合計は、前連結会計年度末に比べて9,343千円増加し、1,212,815千円となりました。これは主として、現金及び預金が62,037千円減少し、売掛金が91,670千円増加したことによるものです。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて50,469千円減少し、444,375千円となりました。これは主として、未払金が34,578千円、長期借入金（一年内返済予定長期借入金を含む）が9,990千円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて59,812千円増加し、768,440千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益33,721千円を計上したこと、新株予約権の行使による新株発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ8,799千円増加したことによるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ62,037千円減少し、341,720千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、2,291千円（前第2四半期連結累計期間は41,503千円の収入）となりました。これは、主に、税金等調整前四半期純利益48,526千円、減価償却費52,651千円、売上債権の増加額92,635千円によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、63,635千円（前第2四半期連結累計期間は90,821千円の支出）となりました。これは、主に、有形固定資産の取得による支出15,543千円、無形固定資産の取得による支出18,162千円、投資有価証券の取得による支出30,000千円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は、3,885千円（前第2四半期連結累計期間は18,159千円の支出）となりました。これは、主に、ストックオプションの行使による収入17,345千円、リース債務の返済による支出12,203千円があったためであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の業績予想につきましては、現時点では2019年8月14日発表いたしました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	403,757	341,720
売掛金	316,363	408,033
たな卸資産	4,474	25,050
その他	74,267	46,689
貸倒引当金	△2,938	△3,433
流動資産合計	795,924	818,060
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	33,511	30,417
工具、器具及び備品（純額）	142,644	127,404
リース資産（純額）	53,967	33,143
その他（純額）	1,799	1,524
有形固定資産合計	231,923	192,490
無形固定資産		
ソフトウェア	57,384	74,042
ソフトウェア仮勘定	11,976	—
その他	150	141
無形固定資産合計	69,511	74,183
投資その他の資産		
投資有価証券	—	30,000
敷金及び保証金	67,407	64,916
繰延税金資産	24,622	22,663
その他	14,582	12,487
貸倒引当金	△500	△1,986
投資その他の資産合計	106,112	128,081
固定資産合計	407,547	394,754
資産合計	1,203,472	1,212,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	107,337	81,117
1年内返済予定の長期借入金	20,080	160,090
リース債務	24,606	17,942
未払金	145,164	110,585
未払法人税等	7,504	20,875
その他	30,976	49,974
流動負債合計	335,668	440,584
固定負債		
長期借入金	150,000	—
リース債務	7,396	1,856
退職給付に係る負債	1,779	1,933
固定負債合計	159,176	3,790
負債合計	494,844	444,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,776	713,576
資本剰余金	696,738	710,653
利益剰余金	△700,199	△666,477
自己株式	△255	△255
株主資本合計	701,060	757,496
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△272	△2,371
その他の包括利益累計額合計	△272	△2,371
新株予約権	7,638	9,929
非支配株主持分	201	3,385
純資産合計	708,627	768,440
負債純資産合計	1,203,472	1,212,815

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
売上高	1,029,883	1,216,450
売上原価	552,792	664,457
売上総利益	477,090	551,992
販売費及び一般管理費	447,050	499,854
営業利益	30,040	52,137
営業外収益		
受取利息	22	93
為替差益	—	1,345
その他	124	153
営業外収益合計	147	1,592
営業外費用		
支払利息	5,488	5,203
為替差損	2,276	—
その他	325	0
営業外費用合計	8,089	5,203
経常利益	22,097	48,526
税金等調整前四半期純利益	22,097	48,526
法人税、住民税及び事業税	9,902	13,047
法人税等調整額	—	1,959
法人税等合計	9,902	15,006
四半期純利益	12,195	33,519
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,284	△201
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,479	33,721



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	12,195	33,519
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	16	△2,788
その他の包括利益合計	16	△2,788
四半期包括利益	12,211	30,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,538	31,621
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,326	△890

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	22,097	48,526
減価償却費	68,585	52,651
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	813	1,981
受取利息及び受取配当金	△22	△93
支払利息	5,488	5,203
売上債権の増減額 (△は増加)	4,174	△92,635
たな卸資産の増減額 (△は増加)	8,095	△20,835
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,025	△27,301
未払金の増減額 (△は減少)	△22,647	△18,901
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,593	21,037
未払費用の増減額 (△は減少)	14,752	2,582
前受金の増減額 (△は減少)	892	△802
その他	△14,923	31,826
小計	65,687	3,239
利息及び配当金の受取額	22	93
利息の支払額	△5,468	△5,181
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△18,737	△443
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,503	△2,291
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△17,586	△15,543
無形固定資産の取得による支出	△4,187	△18,162
投資有価証券の取得による支出	—	△30,000
敷金の差入による支出	△69,753	—
敷金の回収による収入	553	70
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	151	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,821	△63,635
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△9,990	△9,990
リース債務の返済による支出	△11,816	△12,203
ストックオプションの行使による収入	3,725	17,345
自己株式の取得による支出	△78	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	8,734
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,159	3,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	256	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△67,221	△62,037
現金及び現金同等物の期首残高	586,854	403,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	519,633	341,720

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

##### 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

##### 2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

##### 3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

##### 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

##### 2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

##### 3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ハウス プリペイド カード事業	ブランド プリペイド カード事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	934,691	95,191	1,029,883	—	1,029,883
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	934,691	95,191	1,029,883	—	1,029,883
セグメント利益又は損失(△)	215,305	△4,859	210,446	△180,406	30,040

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△180,406千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ハウス プリペイド カード事業	ブランド プリペイド カード事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,137,394	79,055	1,216,450	—	1,216,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,137,394	79,055	1,216,450	—	1,216,450
セグメント利益又は損失(△)	232,061	△23,685	208,375	△156,238	52,137

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△156,238千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。